



国連開発計画

# 戦略計画 2026-2029

概要

## 健全な地球で、人間開発の進歩を支えてゆくために

国連開発計画（UNDP）はすでに 60 年にわたり、全世界で**数百万人の生活改善**に対する支援を大規模に提供することで、人間開発の進歩に貢献してきました。

UNDP は今後も、**地球環境を守りながら、高度な人間開発**に向けた各国の進歩を支援していきます。その戦略的方向性を定めるのは、すべて人に豊かさを、効果的なガバナンス、危機における強靱性、健全な地球という 4 つの戦略目標ですが、その実現はデジタル・AI トランスフォーメーション、ジェンダーの平等、持続可能な資金という 3 つのアクセラレーター（加速要素）によって推進されます。そのすべての基礎となるのが、**人権を守り、誰ひとり取り残さない**という理念に基づいています。

この戦略計画は、**各国の優先課題を念頭に置く統合的な開発ソリューションを通じたシステム的な変革のための支援**という、UNDP が最も得意とする領域へと、さらに焦点を絞るものになっています。

## 根拠に基づく行動へ

戦略計画の策定にあたり、UNDP は 116 か国の 600 名を超えるパートナーと、これまで以上に幅広い協議を行いました。新戦略計画は、戦略計画 2022-2025 の独立評価と中間レビュー、UNDP のビジネスモデルに関する独立審査、そして 147 か国の 1 万 1,000 の開発パートナーを対象とした調査から得られた幅広いデータや教訓に依拠しています。

以下の所見は、計画の策定に大きな影響を与えました。

### 大切なのは信頼

UNDP は国連機関で唯一、連携するリーダーから常に主要な開発パートナーの上位 5 機関として評価されてきました。各国の当事者意識の重要性を認識しつつ、UNDP はパートナーとともに活動しながら、その開発優先課題と歩調を合わせて進化しています。パートナーは UNDP があらゆるレベルで、無数の政府機関と連携し、相互の信頼に根ざす長年の関係を通じた広範なネットワークを評価しています。

### セクターではなくシステムで見る

評価では、システムに取り組む UNDP のアプローチが「構造変革の最大の推進要素」として認識される一方で、さらに改善の余地があることも指摘されています。この手法は現在、私たちのポートフォリオ方針や実践にも取り込まれ、共通の使命の達成に向けて、複数のパートナーや資源が結集しています。

### 長期的インパクトは通常資金次第

通常資金（コア資金）の減少は、UNDP が柔軟に対応し、統合的なソリューションを展開して恒久的な変革を進める上で大きな制約となっています。UNDP が有意義な開発効果を上げるには、持続可能な通常資金の確保が欠かせません。

### 次世代スキルで先導

UNDP が実施するプロジェクトの過半数には、デジタル要素が含まれるようになっています。UNDP は 51 の国連機関の中でも、デジタル、データ、戦略的先見性、イノベーション、行動科学の分野で特に高い評価を得ています。こうした分野への投資が、未来を考える、学習志向の文化を育みます。

### 統合的アプローチを中心に

パートナーが望んでいるのは、雇用機会を増やしたり、女性の権利を促進したりすることで貧困を削減するなど、複数の問題が絡む領域での専門的な支援です。このアプローチは成果を収めており、中間レビューでは、UNDP の分野横断アプローチが 10% 広がるごとに、そのインパクトが 3% 増大することが判明しています。

### 実施と政策支援に対する高い評価

私たちの影響力はこの 10 年で高まっています。調査対象となった民間セクターのリーダーのうち 98% は、UNDP の実施面での支援をかなり、または非常に役に立ったと評価しました。政府のリーダーも 91% がこれに同意しています。

### リスクを認識し、レジリエンスの構築を

活動全体にリスク認識を取り入れたことは、UNDP のレジリエンス構築に大きく役立ちました。危機や複雑な情勢下でも現場に留まり、任務を全うできる私たちの能力は、他が撤退するような状況で開発努力を持続できる一因となっています。こうした取り組みにより、脆弱な状況に置かれたリーダー層の間で UNDP の影響力は高まっています。

## 包括的目標

UNDP は各国と連携しながら、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が目指す、より公正で持続可能な未来に向け、人々の選択肢を広げ続けています。それはすなわち、いかなる国も人間開発と地球の健全性のどちらかを選ぶ必要がなく、豊かさと持続可能性が二人三脚で改善し、誰ひとり取り残されない未来に他なりません。それこそが人類の次なるフロンティアであり、適切な支援があれば、到達は十分に可能です。

各国の優先課題に沿った統合的かつエビデンス重視のアクションを通じ、UNDP は人間開発の加速に努めながら、地球への負担を軽減することに取り組んでいます。この方向に各国を伴走することこそが、戦略計画の包括的目標なのです。

## 価値の創造

### 私たちの活動

戦略計画では、60年にわたって整備されてきた UNDP インフラへの投資を活用します。



活動範囲は  
**170 の国と地域**



**地域ハブ**をアディスアベバ、アンマン、バンコク、イスタンブール、パナマに設置



**国連システムのアセットを受け入れ**：MPTFO、UNCDF、UNOSSC、UNV



90% のリーダーが「非常に役立つ」または「かなり役立つ」と評価



1 ドルのうち 92 セントを  
開発プログラムに投入

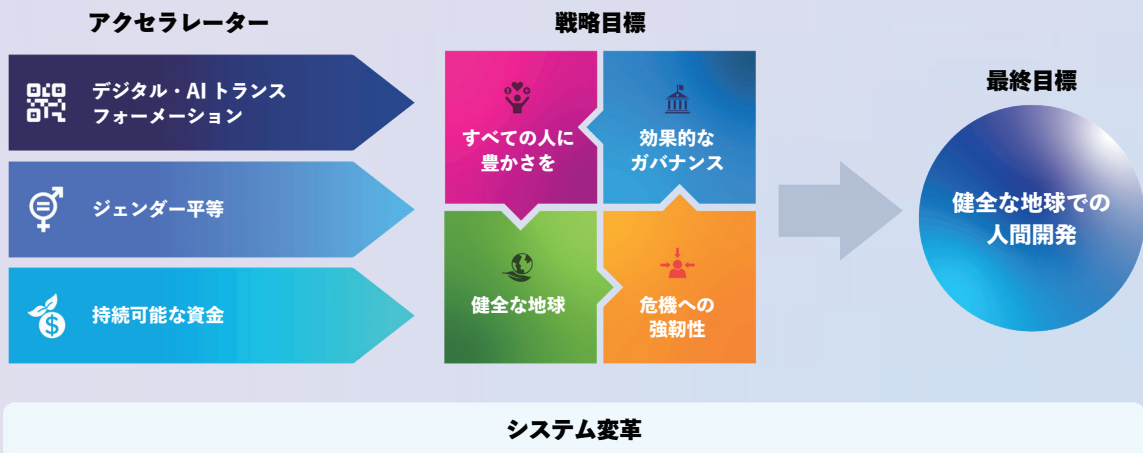


2011 年以来、**援助透明性指数**で常に上位にランク

## 戦略的枠組み

戦略計画は、より少数の統合的な成果を重視して策定されており、各国の優先課題を念頭に置く開発ソリューションを通じ、システムレベルでの変革を実現するという、UNDP が最も得意とする領域へと、さらに焦点を絞るものになっています。

進歩をもたらす3つのアクセラレーターによって推進される4つの戦略目標という枠組みは、UNDP が人々の生活に与えるインパクトと、私たちの人間開発への貢献をよく表しています。この枠組みは、UNDP の強みを活用し、戦略目標とアクセラレーターの相互連関を強調するとともに、各国の優先課題に即した開発施策を策定する余地を作り出すものです。



## 人間開発への経路

戦略目標とアクセラレーターは全体として、人間開発を前進させながら、プラネタリー圧力調整済み人間開発指数（PHDI）で測られる地球への圧力を減少させます。



\* プラネタリー圧力調整済み人間開発指数

## 戦略目標

UNDP の戦略的方向性を定めるのは、すべての人に豊かさを、効果的なガバナンス、危機への強靱性、健全な地球という 4 つの戦略目標です。



### すべての人に豊かさを

世界の約 9% の人々が、極度の貧困の中で生きています。UNDP は、貧困と不平等の解消に向けて重要な役割を担い、誰ひとり取り残さないという決意のもと、すべての人がより良い生活を送れるよう取り組んでいます。のシフトは、最低限の貧困ラインというゴールポストを越えて、誰もが豊かになれるような活力のある、レジリエントな経済と社会の構築へと、パートナーの想いが変化を遂げていることと呼応しています。



人々やビジネスが生産的資産にアクセスし、人間らしい仕事と暮らしを実現し、人的資本を構築できる機会を広げること



リスク削減と必須のサービスや社会的保護へのアクセスを通じ、ショックや危機、多次元の脆弱性に対する保護を充実させること



### 効果的なガバナンス

責任ある、包摂的で効果的なガバナンスは、人間開発の中核をなす要素です。UNDP は、持続可能な開発に向けた政府間のガバナンス原則に沿って、人権を尊重し、人間を中心に据えた責任あるガバナンスの構築を支援します。

システミックの変革の核心となる次元の 1 つとして、ガバナンスをその活動全体に統合できる UNDP の能力により、私たちは持続可能な開発の相互に関連する課題への取り組みで、有利なスタートを切っています。

システム志向やイノベーション、戦略的先見性を活用しながら、UNDP は各国がより敏捷に先手を打てるガバナンスと政策立案を発展させ、対応力に優れたサービスや経済的機会を提供するための

UNDP は以下のような活動を通じて、貧困の削減と豊かさの創造を支援します。

すべての人の豊かさには、女性の経済的機会拡充のほか、財産権や金融サービスへのアクセス、賃金の平等など、その全面的経済参加を妨げる障壁の克服を含めなければなりません。

各国がたどる開発経路は異なるため、UNDP はその活動をそれぞれの国情や対象となる人口集団に適応させています。豊かさの実現に向けた進歩は、不平等調整済み、ジェンダー調整済みの人間開発指数を含め、経済的機会と人々の能力拡大の両方を評価する多次元の指標を用いて測定しています。

お手伝いをしています。その中には、デジタル公共インフラの整備や、デジタル化と AI を通じたサービスへのアクセス拡大が含まれます。

民主的なガバナンス、人権、法の支配は、豊かな社会と経済、平和の持続と人間の安全保障の基盤となります。移行下や危機下を含め、政治的対話や選挙プロセスに関する UNDP の支援に対する需要は高まりつつあります。各国政府や地方自治体、議会、市民社会とのパートナーシップは、誰もが参加できるオープンな公的領域の構築に役立ちます。

紛争や暴力の影響下では、UNDP が対話やインサイダー調停、エリアベースのアプローチを通じて社会的連帯を育み、コミュニティの安全と現地での平和構築を強化しています。

## 危機への強靱性

危機は多様ですが、人間開発と人間の安全保障への脅威は深刻化し続けています。UNDP は、危機発生直後から開発の歩みを守り、リスクを減らし、復興と人道援助への長期的な依存からの脱却に向けた基盤を築いています。

UNDP は人道、開発、平和構築という3つのシステム間の「橋渡し役」を務め、常駐調整官と人道調整官が率いる国連の国別チームや人道チームが、対応の各段階を通じて継続性を維持し、長期的な開発の進展を図れるよう支援しています。

UNDP は、女性の経済的機会と、政策決定における発言権の拡大を含め、安定化と早期復興に鍵を

握る役割を果たします。また、民主的ガバナンスへの若者の参加を支援し、和平プロセスにおけるその発言権も強めています。

どんなに厳しい環境でも「現場に留まり、任務を全うする」という決意を固めることで、UNDP は危機のあらゆる段階を通じて、一貫した参画ができるようになってきました。私たちは強力な活動能力とグローバルな影響力により、リスクの大きい遠隔地でさえ、大規模にサービスを展開できます。長年の関係と現地でのネットワーク構築は、他が留まれないような危機の影響下や複雑な政情の中でも、私たちの活動を可能にしているのです。

## 健全な地球

健全な地球なくして、持続可能な開発は実現できません。UNDP は、地球環境と開発を結びつける要として、気候変動、災害、生物多様性の損失、エネルギー、化学物質、廃棄物といった地球規模の課題に統合的な解決策を提供しています。また、ガバナンス、繁栄、レジリエンスといった開発の優先課題を力強く推進しています。

UNDP は、パリ協定、昆明モントリオール生物多様性枠組、モントリオール議定書その他の国際協定に基づくグローバルな約束を実効的なローカルアクションへと移すことを目指しています。私たちは、各国が公正で持続可能な移行を達成するための選択肢を検討し、新しいアイデアを活用して資金調達課題に対処できるよう支援しています。

UNDP は下記のような連携を行っています。



各国と連携し、国としての約束内容に関する政策的一貫性を改善するとともに、現地の状況に見合った形で、これらの約束を果たすことに努めています。



政府や市民社会、金融機関、民間セクターと連携し、地球を守りながら、豊かさを促進するアクションへの共同投資を図っています。

UNDP は「気候の約束 2025」を通じ、各国の気候関連目標と戦略の支援に国連システム全体を参画させるためのプラットフォームを立ち上げました。

## アクセラレーター

デジタル・AI トランスフォーメーション、ジェンダー平等、持続可能な資金は、システム的な変革に向けた進歩を駆動する強力なアクセラレーターとなります。

- デジタル化は機会を広げ、公共サービスを改善し、市民の参画を強化し、危機への対応をスピードアップします。
- 法律や公共政策を通じ、女性の地位が向上すれば、社会のレジリエンスは高まり、経済成長は加速し、貧困と不平等は減少します。
- 資本の流れと持続可能な開発の優先課題との整合性を改善すれば、豊かさや健全な地球の実現に向けた新たな経路への鍵が開きます。

## デジタル・AI トランスフォーメーション

急速なデジタル化の進展と AI の台頭は、経済やガバナンス、社会の姿を一変させつつあります。しかし、機会には常にリスクが伴います。サイバーセキュリティやデータ機密性への脅威、アルゴリズムのバイアス、デジタル技術が環境に及ぼす影響の増大などです。世界人口の 3 人に 1 人は、今でもオフラインの状態にあります。このため、UNDP がオープンで自由、かつ安全なデジタルと共に生きる未来に向けて、「意味のある接続性」を実現しようと取り組む各国への UNDP の支援の重要性を、いっそう高めています。

UNDP の幅広い専門性と国別のアプローチによって、私たちは統合的かつシステム的な形でホリスティックなデジタル・トランスフォーメーションを支援できるようになっています。

UNDP は 120 か国以上と連携しながら、その開発を支援するため、デジタル技術の活用を図っています。


その中には、公的機関や人々がデジタル技術とデータにアクセスし、これを活用する能力を身につけるための援助や、各国がデジタル決済や安全なデジタル ID システムなど、確かなデジタル公共インフラを整備するための支援が含まれます。


私たちはパートナーとともに、デジタル技術や最先端技術の安心で安全、かつ責任ある利用を確実にする政策や規制、開発計画の策定を図っています。また、オンラインの偽情報や両極化など、デジタルがもたらす害悪への対策も拡充しているところです。さらに私たちは、より小さな環境コストでデジタルインフラを整備できる持続可能なソリューションも促進しています。


## ジェンダー平等

女性の権利と機会均等の実現は、持続可能な開発に欠かせないだけでなく、あらゆる分野での成果を加速できる可能性を秘めています。UN Women の活動を補完するため、UNDP はジェンダー平等にインパクトを与えることを意図した施策を策定していますが、パートナーはこれを最も効果的な活動領域の 1 つと捉えています。UNDP は「国連システム全体行動計画」に定めるターゲットの 94% を達成し、一部ではそれを上回る成果を上げています。

各国政府と信頼の絆で結ばれた UNDP は、開発のあらゆる次元で女性のエンパワーメントの前進を援助できる有利な立場にいます。

 UNDP は公的機関、公選職、司法、民間セクターにおける女性のリーダーシップと平等な参加を加速しています。

 UNDP は企業、雇用創出、能力構築を通じ、女性の経済的機会拡充に努めるとともに、女性の無給ケア労働の認知、削減、再分配を図っています。

 UNDP は危機下の状況で、女性と女児の利益と声を代弁しています。

女性の機会を制約している障壁を覆すシステミックな変革への援助に対する需要が高まりつつあります。私たちは各国政府と連携し、国や地域を横断して成功を収めたアプローチを共有するとともに、より市民に近い位置で、国家政策を女性と男性双方にとっての真の利益へと変換できるよう、地方自治体との協力も図っています。



## 持続可能な資金

開発資金のギャップは、単なる資金不足とイコールではありません。それは持続可能な開発の優先課題と整合しない資本の流れを反映しています。この不整合を正すためには、開発援助の量的拡大から開発金融システムの変革へと軸足を移す必要があります。この点で、UNDPには次のような他と異なる価値があります。



官民の金融システムの橋渡しをすること。



各国レベルで投資を持続可能な開発と整合させるため、開発と金融のアクター間ですり合わせを行うこと。

UNDPは新興国や途上国で開発を加速させ、投資機会を拡大するため、金融、政府、気候、自然、開発が交わる領域で活動しています。

私たちは各国と連携し、その規制、制度、政策の枠組み強化を図ることで、金融ガバナンスの安定化と資本配分の透明化を行っています。86か国では、国内金融枠組の統合によって、新規資金160億ドルが動員され、持続可能な開発に整合する投資は320億ドルを超えました。

私たちは開発金融機関や民間セクターと連携し、ブレンデッドファイナンスやグリーンボンド、サステナビリティ・リンク・ローン、付保投資など、資金調達手段の拡充に努めています。また、政府が累進課税やSDGsと整合する予算編成、成果ベースの財政政策を通じ、資金を動員するための援助も行っています。

## 価値の実現

### UNDP ならではの活動

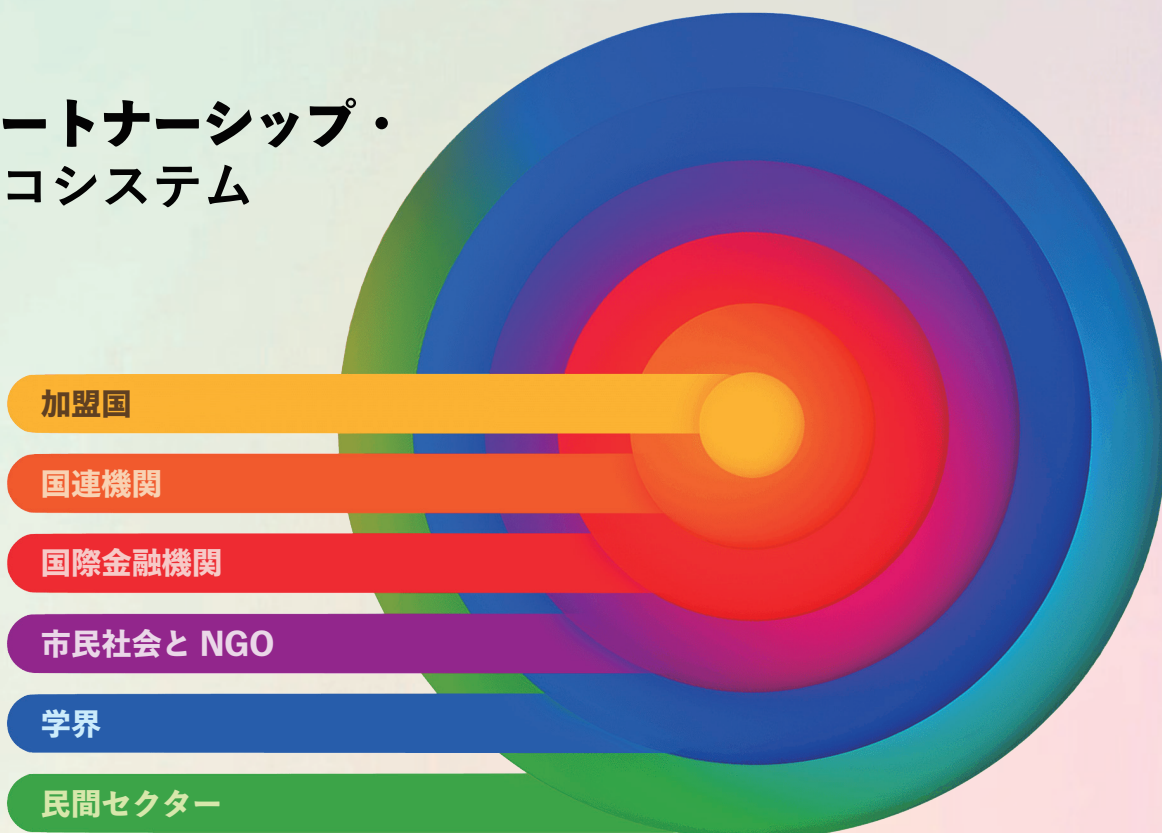
#### システム・アプローチ

政府と開発パートナーは、急速な変化に対応するための新たな方法を模索しています。短期的なセクター別のアプローチから脱却し、その根底にある社会、経済、金融のシステムの変革を図るためです。

UNDPはすでに80か国の政府と手を携え、社会的信頼や都市変革といった構造的課題に取り組んでいます。ここで得た学びを基に、私たちは多様なパートナーを結集し、共通の目標達成に向けた一連の協調的施策を導入するという形で、**システム改革を支援するポートフォリオ政策と実践**を開発しました。例えば、フィリピンとベトナムのポートフォリオでは「生産・消費・廃棄」のモデルを再考し、環境の健全化と新たな生計オプションを明らかにしています。

戦略計画の実施に中心的な位置を占めるこのシステム・アプローチには、協業や新たなパートナーシップのほか、多数のパートナーからの中長期的な資金供与も必要になります。

## パートナーシップ・ エコシステム



UNDP が成果を創出するうえで、**各国政府**との長年にわたる協働関係は、引き続き中核的な基盤となっています。各国政府は、UN カントリーチームとの連携のもと、各国の状況に即して策定される UNDP の国別プログラムを遂行するために必要な資源を提供しています。

**民間セクター**は、システミックな変革を達成するために欠かせないパートナーです。UNDP は民間セクターと連携し、ビジネスのイノベーションや資本、専門性を各国の開発優先課題と整合させるよう努めています。

UNDP はブレンデッドファイナンスやサステナビリティ・リンク債によってインパクトを増幅させつつ、**国際金融機関**との連携によって、補完的な技術援助と資金の提供を図っています。

UNDP は南南・三角協力を促進し、各国政府が他の**国連機関**の多様な資金を活用するための援助を行うことにより、私たちのパートナーが利用できる資金や専門性、経験を拡大しています。

UNDP は慈善団体や民間セクター、国際金融機関 (IFI)、学术界、市民社会、NGO とのパートナーシップを一層多様化させ、より幅広いステークホルダーが開発に参画できるよう取り組みを進めています。

## 国連開発システム

4年ごとに実施される国連システム（UNDS）開発事業活動の包括的政策評価は2024年、一貫性、効率、効果、そして責任を改善する必要性を指摘しました。UNDPはその専門性やネットワーク、世界規模のプレゼンスを活用し、この集団的な取り組みに貢献しています。

各国のリーダーシップの下、UNDPはその国別プログラムを各国の優先課題と整合させており、国別プログラムが目指す成果は「国連持続可能な開発協力枠組み」から導出されています。常駐調整官が率いる国別チームと連携しつつ、UNDPは複雑な開発課題に対応するため、先見のアプローチとシステム思考の専門性を生かした、統合的かつエビデンスに基づくプログラミングを実施しています。

UNDPは引き続き、国連のプール資金と共同プログラムへの最大の参加機関となっており、共同プログラムの実施に2億4,000万ドルを超える投資を行っています。そこで欠かせないのが補完性です。私たちは政策設計やプログラム実施、報告メカニズムで機関間のシナジーを促進し、取り組みの重複や細分化の回避を図っています。

UNDSが開発に及ぼすインパクトは、このシステムにサービスや専門性を提供するUNDP傘下のアセットにより、さらに増幅されています。



### より多くの人員：

2024年には、181か国出身の**国連ボランティア** 14,631名が、169か国にある59の国連機関・部署に配属されています。



### より一体的な取り組みへ：

**マルチパートナー信託基金事務所**は、年間10億ドルを超える資金をプールし、広範囲にわたる成果の向上を図っています。



### さらなる投資：

**国連資本開発基金**の金融能力と金融手段をこのプログラムへと統一することにより、UNDPはすべての人のための持続可能な成長と雇用創出、経済的機会を支援しています。



### さらなる協力の推進：

**国連南南協力事務所**は、特にデジタルとガバナンスのイノベーションに関する技術の開発と移転、資金協力、ピアラーニング、能力構築を通じ、人間開発の向上を促進しています。

## 比較優位性

UNDP は独自の能力と経験を併せ持っています。独立の評価や審査、パートナー、観測筋が指摘する最も顕著な強みは、下記のとおりです。



### グローバル・リーチと ローカル・インパクト

パートナーは、UNDP が世界的な活動能力と、170 の国と地域、特に現地にほとんどの機関が存在しない小国や困難な状況下での活動実績を兼ね備えている点を高く評価しています。



### パートナーシップの 媒介役

UNDP は国連システム内外のパートナー間につながりを作ることで、部門横断的に取り組みを統合し、開発成果を拡充しています。



### 広く深い専門性

数十年にわたり培ってきたガバナンス、環境、危機、貧困関連の専門的知識に加え、システム変革や統合的デジタル・ソリューションなど、さらに新しい分野での能力も強化しています。



### 統合的 ソリューション

部門横断的に「点を線でつなぐ」UNDP の能力は、統合的ソリューション設計と、政府独自の統合的計画・資金調達枠組みに対する支援を根底から支えています。



### ソート・ リーダーシップ

人間開発指数や多次元開発指数をはじめとする知識プロダクトは、政策立案者にとって信頼できる正確なアセットとして位置づけられています。



### 危機における 揺るぎない存在

UNDP は危機発生時でも現場に留まり、任務を全うします。そして人道、開発、平和という一連の流れに参与するアクターを結びつけ、その瞬間から中長期的な開発に向けた礎を築きます。



### システムの 優位性

データ、イノベーション、デジタル、戦略的先見性への投資を背景に、ポートフォリオ・アプローチは UNDP とパートナーが急速な変化を読み解くことを可能にしています。連携関係にある機関とのポートフォリオ共創への取り組みは、システム的な変革に向けた国連全体の協力のあり方を再定義しつつあります。



### 政策に運営を プラス

政策と運営面の専門性を組み合わせることで、さらに大きな開発成果が生まれます。例えば、UNDP は調達とガバナンスに関する専門性を兼ね備えているため、政策から計画策定、さらには実施に至るまで、各国の選挙管理をシームレスに支援できます。



### 規模の大きな価値

UNDP は 70 の国連機関・部署に対し、金融、人的資源、IT、調達の分野で共通のサービスを提供することで、UNDS 全体で規模の経済を実現しています。

## 未来に生きる活動

過去 8 年間で、UNDP はその活動を大幅に近代化を勧めてきました。今では 1 ドルあたり 92 セントが、プログラムとサービスに充当されるようになっていきます。



統合業務（ERP）システムの Quantum は現在、10 の国連機関が共同で利用



グローバルな共通サービス・プラットフォームの強化を通じ、約 3,000 の業務プロセスを自動化



121 か国で 70 以上の国連機関・部署のオペレーショナル・バックボーンとして活躍



エネルギー効率の改善で、2030 年までに UNDP のカーボン・フットプリントを半減できる見込み

2024 年の独立「ビジネスモデル審査」の提言に従い、さらなる改善を行うことで、さらにスリムで迅速かつ責任ある UNDP ができ上がる予定です。

### 人員と文化

People for 2030 戦略のフェーズ 3 として、UNDP はエンゲージメント、継続学習、成長志向のマインドセットに根差した組織文化の構築を続けます。私たちは、新たな内部人材市場を通じて人的資本と組織目標との整合性を高めつつ、データの活用で生産性と実績の最適化を図ります。

### 業務の変革

ERP システムの Quantum、グローバルな共通サービス、現代的な人材管理によって、効率と効果、コストパフォーマンスを高めつつ、説明責任と透明性を堅持します。

### 透明性と説明責任

これまで 20 年にわたる 1,000 億ドルの開発資金供与に関する監査で無限定意見を獲得し、2011 年以来、援助透明性指数において最上位の評価を獲得している UNDP は、リアルタイムでデータに基づく説明責任の強化を進めています。新たな取り組みとしては、リアルタイムで実績を監視するための次世代型デジタルプラットフォームの整備が挙げられます。UNDP は成果だけでなく、失敗から得た教訓も公開し、継続的改善の文化を育てています。

### データ、デジタル、AI

UNDP は AI 分析の活用で、複雑なデータを実用的な知見に変換するとともに、より統合性の高いプログラムと政策の策定を支援します。「デジタル・AI・イノベーションハブ」の新設によって、チーム相互間のもとより、他の機関との協業も強化され、イノベーションがさらに加速することでしょう。

### リスクマネジメント

UNDP は全組織的リスクマネジメント枠組みを確立しています。私たちはより早期にリスクを識別し、これをよりよく管理するため、すべてのプログラムと活動にリスクマネジメントをさらに積極的に取り込みます。戦略計画実施にあたっては、リスクを定期的に評価するとともに、これを随時、執行理事会に報告します。

### 成果へのこだわり

UNDP のインパクト測定枠組みは、多次元貧困指数やプラネタリー圧力調整済み人間開発指数など、より高度な指標を含むものへと進化を遂げています。UNDP は、私たちの施策がどのように人々の生活を変えているかをよりよく把握するため、これら指標のさらなる精緻化を続けます。

### 資金供与の価値

1ドルごとに最大の開発インパクトが得られること、そして不透明な世界で、UNDP が信頼できるパートナーであり続けることを確実にするのが、UNDP の戦略の基本です。

資金調達が困難を極める環境の中で、UNDP は 2025 年初頭から緊縮措置を導入し、活動経費の削減、資金利用の最適化、資金動員の強化を図っています。その一方で、プログラム・パイプラインの開発やデジタル・AI 能力の拡充など、大きな収益が期待できる投資は継続します。

**コア（通常）資金**は UNDP の財政基盤をなすもので、長期的な計画を策定し、迅速な対応を図り、イノベーションを推進するとともに、最も取り残された人々に手を差し伸べることで、すなわちマルチラテラリズムへの投資を可能にします。しかし、コア資金の拠出額は資金全体のわずか 12% にまで落ち込んでいます。UNDP の中立性やグローバル・リーチ、各国のニーズに基づき対応する能力を守るためには、コア資金の再構築が欠かせません。

### 今後の道のり

地政学的な変動、経済の不安定化、そして UN80 イニシアティブから生まれる新たな知見により、開発協力の未来には多くの可能性が生まれています。激動の世界の中で UNDP がそのインパクトと信頼性を維持するための堅牢な基盤として、戦略計画は次のような性質を帯びています。



#### 複雑な世界への備え

混乱が続くことを前提に、システム・アプローチと戦略的先見能力は、UNDP が複雑な世界を乗り切るための備えとなります。



#### 需要への対応を第一に

パートナーの現状と将来のニーズに根差しつつ、ニーズの動向に応じて変化する柔軟性を備えています。



#### 適応性

資金調達の増減を含め、UNDP が異なるシナリオに現実的に対応できるようにしています。戦略計画は、UNDP が提供するサービスの完全性を維持しつつ、機会が生まれたり、制約が現実化したりする中で、プログラム要素の拡大または整理統合を可能にします。

UNDP は、地球を守りつつ、グローバルな豊かさを高めるアクションに共同投資するためのプラットフォームを提供しています。**UNDP と加盟国による共同の取り組み**として、戦略計画の成否は、決意の共有と協業ができるかどうかにかかっています。





**United Nations Development Programme**  
国連開発計画 (UNDP)

[www.undp.org/japan](http://www.undp.org/japan)

© UNDP 2025

